



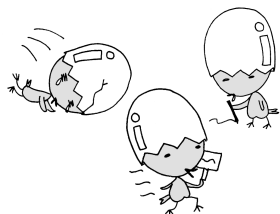
作って学ぶ
VISUAL BASIC .NET

瀬戸 遥

SETO, Haruka

<http://www.big.or.jp/~seto/>

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA006682/>



第8回 かんたんワープロMyWordを作る

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Level



Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥TAMAHYOディレクトリに収録しています。

¥MYWORD
今回のサンプル



自作ワープロも夢じゃない

Visual Basic .NETの RichText Box (リッチテキストボックス) コントロールは、ユーザーから文字の入力を受け付けるコントロールです。

文字の入力を受け付ける同種のコントロールとして TextBox がありますが、RichText Box コントロールはフォントのスタイル指定や文字色の変更を行なうことができます。また、RichText Box コントロールは、画像の貼り付けなども行なうことができ、まるで Word のような書式付き文字を使った文書を作成することができます。

そこで、今回は、RichText Box、MainMenu コントロール、StatusBar コントロールを使って、簡単なワープロソフトを作成してみます(図1)。



搭載する機能

作成するプログラムには、各コントロールを利用して次のような機能を組み込みます。

- ・ RichText Box コントロールでユーザーからの入力を受け付ける
- ・ ユーザーがフォームのサイズを変更すると、自動的に RichText Box コントロールのサイズも変化する(図2)
- ・ MainMenu コントロールを使って、「保存」「開く」「印刷」などのメニューを組み込む
- ・ StatusBar コントロールを使用し、作成している文書の名前や現在の日時など、必要な情報を表示する
- ・ 現在の日時を表示するために、Timer コントロールを使う

フォームのサイズ変更に伴ない、

図1：今回のサンプル



RichTextBoxコントロールのサイズも自動的に変化させる処理は、フォームのResizeというイベントを利用します。

MainMenuは、フォームにメニューを設定するコントロールです。メニューの作成は、フォームデザイナー上でダイレクトに編集できるようになっています。

StatusBarは、ユーザーに情報を提供するコントロールで、内部を「パネル」と呼ばれる区切りでいくつにも分けて使用できる構造になっています。そして、このパネルひとつひとつにいろいろな情報を表示させることができます。

今回は、これらのコントロールの使い方を中心に説明を進めてゆきます。



デザインしてみる

まずは、フォームのデザインからはじめましょう。

フォームのサイズ (Sizeプロパティ) は、ひとまず「550, 420」にします。そして、Textプロパティに「かんたんワープロ myword」と入力し、Iconプロパティに「PENCIL10.ICO」をセットします。

● RichTextBoxコントロール

ツールボックスからRichTextBoxコントロールのアイコンをフォーム上にドラッグ&ドロップし、フォームよ

図2：フォームのサイズを変更すれば、RichTextBoxコントロールのサイズも自動変更



りひと回り小さいサイズにして配置します。ついでに、Textプロパティの文字を削除しておきましょう。

● StatusBarコントロール

ツールボックスからStatusBarコントロールのアイコンをクリックし、フォームにドラッグ&ドロップします。StatusBarコントロールは、フォームの最下部にフォームの幅いっぱい配置されます。「ShowPanels」プロパティを“True”に設定してください。

そして、StatusBarコントロールが選択状態のまま、プロパティウィンドウの「Panels」プロパティの値欄にある [...] ボタンをクリックし、「StatusBarPanelコレクションエディタ」を表示します。[追加] ボタンを押すと、StatusBarコントロールにパネルが追加されます。ここでは、2つのパネルを組み込みます (図3)。

組み込んだパネル「StatusBarPanel1」をクリックし、Textプロパティの文字列を削除します。また、AutoSizeプロパティの値を「Spring」に設定します。このAutoSizeは、パネルの幅を自動的に設定するかどうかを指定するプロパティです。Springに設定することにより、他のパネルが使っているStatusBarコントロールの幅の残りを、すべてこのStatusBarPanel1で埋められます。AutoSizeプロパティの値は、Springのほかにも表1に示す値があります^[注1]。